



てとてと 通信

“てとてと”は手と手との“てとてと”。みんなで手をつなぎ子育てできるといいですね！

おやこの森

8月4日・18日・25日

(毎週木曜日/祝日除く)

10:00~12:00/14:00~16:00

※予約不要 先着各4組

★定員を超えた場合は入室いただけないことがあります。

★大人の方はマスクの着用をお願いいたします。

★検温と手の消毒を実施しております。



ファミサポ説明会(予約制)

令和4年8月19日(金)受付時間:10:00~16:00 市役所北館2階

お近くに頼れる人がいなくて不安な方、また子どもが好きで子育てのサポートや時間の有効活用をしたい方、ぜひファミリーサポートセンターへの登録をおまちしています。

(予約・お問い合わせは下記ファミリーサポートセンター窓口までお願いします)

○利用(サポート)内容・保育所・児童ホームへの送迎やその後の預かり

産後のサポート、兄弟姉妹の学校行事や検診時の預かり等

○対象年齢・・・0歳から小学6年生

※マスクの着用、検温、手指消毒にご協力をお願いします。

○利用料金(報酬)・・・1時間 800~900円



たなごころ



はづき
-葉月-

掌(たなごころ)とは“手の心”という意味。手のひらを開くことは
自分の心を開くこと。職員もちょっと心を開いて話してみます。

自宅近くに小学校があります。午前8時10分頃から自宅前の横断歩道には、通学の見守りをしてくださる地域の方が交差点ごとに立っていて、雨の日もその光景は、変わらず続けられています。

先日、雨の日、バス停でバスを待っていた時のことです。バス停の前に建物があって、並んでいる人は、建物寄りに列を作って並んでいます。通学の子どもたちは、ガードレールと大人の間を一緒に並んで通ります。決して広々としているわけではない普通の歩道です。ふと気が付くと傘をさしている低学年の男の子が人の前を通るときに自分の傘を少しだけ閉じるようにして、バス停の人に傘が当たらないようにして通っていきました。

感心しながら子どもたちの様子を見てみると、その後も数人ですが、同じように自分の傘を閉じるようにして通ります。保護者に教えてもらったのか、先生からの指導なのかは、わかりませんが、小さな時からちょっとした周りへの気遣いを普通に出来ていることに感心しました。

小学生になると、自分の考えで物事を決めていかないといけないことが多くなってきますが、相手ありきの考えの元で行動できること、教えてもらったことを素直に行動に移せることっていいですね。その子の周りに素敵な大人がいるのかな？と思いました。勉強以外に大人が伝えていく事柄が日々ただたくさんありそうですね。子どもの行動は、大人の鏡なのかもしれないです。(S.U)

お問い合わせ

〒660-0828 尼崎市東大物町1-1-2 尼崎市社協会館内 尼崎市社会福祉協議会

TEL: 06-6489-3550 (おやこの森)

06-6489-3067 (ファミリーサポート事業専用)

※HPもご覧くださいね!! <http://amasyakyo.jp/familysupport/>



*イベント予定が変更になる場合もあります。お問い合わせは上記の電話番号までご連絡ください